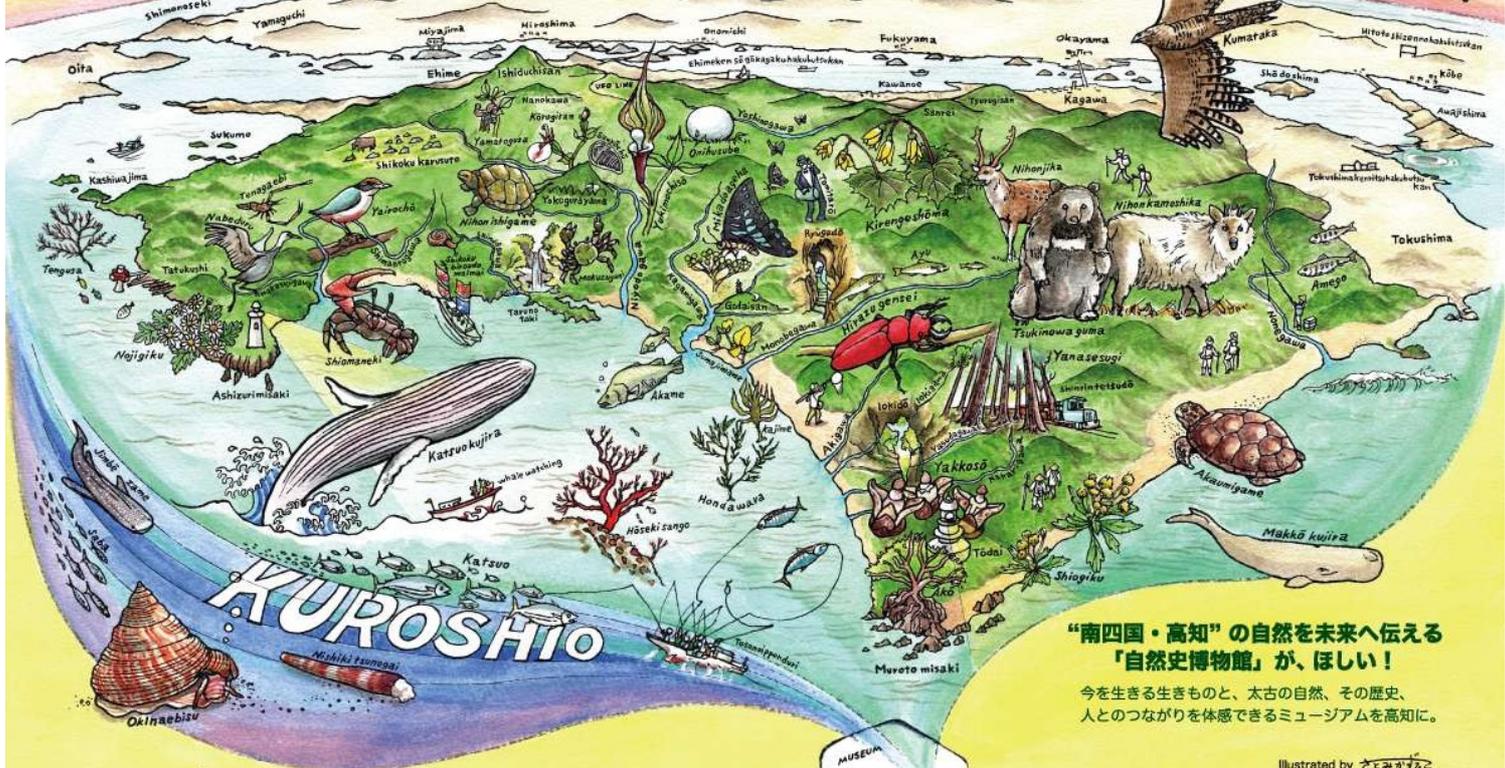


南四国の自然を体感するミュージアムを高知県に!

We need
Kochi Prefectural Museum

Natural History now

more than ever!!



“南四国・高知”の自然を未来へ伝える
「自然史博物館」が、ほしい!

今を生きる生きものと、太古の自然、その歴史、
人とのつながりを体感できるミュージアムを高知に。

Illustrated by さてあづまこ

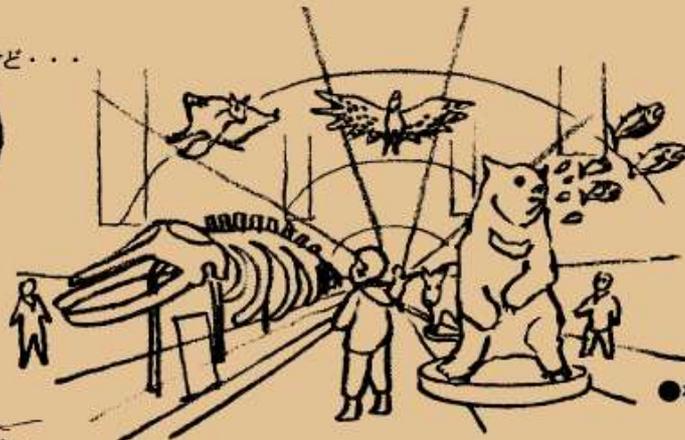
Natural History Museum of Kochi 高知自然史博物館

できたら
いいな

“高知の自然”を
ミュージアムに!

日本にはいろいろな
「自然史博物館」があるけど・・・

“南四国の自然”を
伝える博物館が
ないんだよね～



●標本を収蔵保管・研究し未来に伝える

●高知の自然を紹介する常設展示や企画展を

●野外調査を冊子にまとめたりトーク
イベントなどで紹介 etc・・・

●観察会や標本作製講座を開いて
博物館を支える仲間をつくる

自然史博物館
について



アンケートに
答えてね～

～シンポジウム～

「南四国の自然を体感するミュージアムの建設に向けて」

令和7年3月29日（土）13時30分 ～ 16時10分

オーテピア 4階 研修室（高知市追手筋2-1-1）

【主催】

高知に自然史博物館をつくる会

【共催】

日本ミュージアム・マネージメント学会（JMMA）中・四国支部会

高知みらい科学館，高知昆虫研究会，四国自然史科学研究センター，こうちミュージアムネットワーク

【参加費】

無料。高知の自然と生物に興味を持つ方は、どなたでも参加できます。

令和5年度日本ミュージアム・マネージメント学会中・四国支部研究会において、高知県には自然史科学系標本（植物を除く）の保管場所となる県立施設がなく、公私で管理している多くの標本が5～10年以内に散逸する恐れがあることが紹介され、関係機関と連携して適切な保管場所の確保と活用の仕組みづくりについて、課題の共有化がなされた。

本シンポジウムでは、「高知県立自然史博物館設立に向けた取り組み」について、本会が令和6年度に実施した調査活動の結果を報告する。そのあとに、調査によって得られた情報を基にして、「南四国の自然を体感するミュージアムの建設に向けて」と題し、会場の参加者とともに討論を行い、今後の展望について協議、検討を行う。

【プログラム】

- 13：30～13：40 開会 総合司会 笠貫ゆりあ（高知みらい科学館）
開会挨拶・趣旨説明 谷地森秀二（高知に自然史博物館をつくる会）
- 13：40～14：30 話題提供「標本一時保管場所の模索と、高知に自然史博物館ができることについてのアンケート調査結果紹介」 谷地森秀二
- 14：30～14：40 質疑応答
- 14：40～14：55 休憩・会場整備
- 14：55～16：00 総合討論「南四国の自然を体感するミュージアムの建設に向けて」
コーディネート 高橋信裕（高知みらい科学館・JMMA 理事）
パネリスト 谷地森秀二
中山直英（高知大学理工学部）
辻 雄介（株式会社相愛）
藤川和美（牧野記念財団）
- 16：00～16：10 閉会挨拶 高橋信裕
- 16：10 閉会
- 17：30～19：30 情報交換会「吾平 本店（高知県高知市本町3-1-7）」
参加費：4,500円
メールにて要事前申込。申し込み締め切り3月20日17時

【問い合わせ・申し込み先】

medobuchi@yahoo.co.jp （谷地森）